

「短冊に込めた願い」

「七夕は、どうして短冊に願い事を書いて飾るのでしょうか？」

調べてみたところ、裁縫が上手な織姫にあやかり、裁縫や書道、詩歌などの手習い事が上達するようにお祈りしたことが始まりだったようです。後に、七夕の日には様々な願い事を短冊に書くようになっていったのだそうです。

本校小学部の子供たちも、七夕に向けて、教師と一緒に可愛らしい七夕飾りを作ったり、短冊に思い思いの願いを書いたりしました。

さてさて、子供たちは短冊にどんな願いを書いたのでしょうか？ いくつか紹介します。

「雨がふって、すずしくなりますように」

「おもいがたくさんできますように」

「V ファーレンの応援に行つて、ヴィヴィくんと写真が撮れますように」

「ディズニーランドに行けますように」

「みんなと一緒に修学旅行に行きたいです」

「おいしいごはんをたくさん食べられますように」

「おとうさんと おかあさんと おにいさんと いっぱいお話ができますように」

「元気にいろんな行事に参加したいです」

「ひらがなを全部 覚えられますように☆」

「毎日みんなと楽しくすごせますように」

「おいしいものがたべたい」

短冊に書かれた願いは、子供たちにとっては真剣で、心から願っていることの一つです。それらが叶えられるように、あるいはさらに新しい夢をもつことができるように、子供たち一人一人の夢や願いに注目し、子供たちの今を大切にしながら、精いっぱい応援していきたいと思います。(堀)

